

## NIE大会が閉幕

盛岡、来年は宇都宮

「新聞と歩む 復興、未来へ」をスローガンに盛岡市と岩手県大槌町で開かれていた第23回NIE全国大会は27日、新聞を使った防災教育の授業や実践報告を公開し、2日間の日程を終えた。主催者側は閉会式で「新聞には人と人、人と地域、地域と全国や世界をつなぐ役割がある」と講評した。来年の大会は宇都

宮市で開く予定。

盛岡市立本宮小の6年生の公開授業では、災害を伝える新聞記事から自分たちでできる防災の取り組みを考えた。あるグループは2016年に岩手県を襲った台風10号の記事を取り上げ、高齢者や障害者など災害弱者を守る対策として「情報を早めに把握する」「地域の人と交流し、一緒に避難訓練する」といった意見を出し合っていた。